

今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向	1
2. ベルギーの経済・産業動向	3
3. 月例経済指標.....	5
4. EUの動向 JETRO ビジネス短信より	6
5. お知らせ	8

1. ベルギーの政治・社会動向

1 フロン地域政府、新しい自動車登録税制を発表

フロン地域政府は、2025年7月1日から適用される、新車の購入時に支払う自動車登録税を発表した。新制度ではCO2排出量とエンジンサイズに応じて、最低50ユーロ、最大9,000ユーロの登録税を払うことになる。一方、大型の車両を必要とする大家族に負担がかからるように、1家庭につき1台まで100ユーロの減額が適用される。また、中古車の場合、年数に応じ税額が減額される制度は継続される。フロン政府は、同政策を通じて、より小型の、馬力が小さくCO2排出量の少ない新車や中古車の購入を奨励したい意向。フロン地域では、輸送部門が温室効果ガス排出の22%を占めている。(2023年11月7日)

2 EU、2021年もプラスチック袋の消費削減、ベルギーの消費が域内最少

EU統計局(ユーロスタット)は、厚さ50マイクロメートル(ミクロン)未満のプラスチック製レジ袋(LPCB)について、2021年のEUの1人当たりの年間消費量は77枚で、前年比11枚減だったと発表した。EU全体で消費されたLPCBは342億枚(前年比48億枚減)だった。データが入手可能な国の中で1人当たりのLPCB年間消費量が少なかったのはベルギー(5枚)、ポルトガル(9枚)、スウェーデン(16枚)などとなった。一方、消費量が多かったのは、リトアニア(271枚)、ラトビア(204枚)、チェコ(189枚)などで、消費の大半は厚さ15ミクロン未満の薄手プラスチック製袋だった。(2023年11月7日)

★詳細はジェットロビジネス短信(2023年11月17日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/78c9a7e380376516.html>

3 連邦政府、グリーン投資を促すための投資控除の対象で合意

報道によれば、連邦政府は、企業の持続可能性を高めるグリーン投資を促すための投資税控除の対象で合意した。企業が投資費用の一部を利益から控除できる同制度は、3年ごとに対象が更新される。個人事業者や中小企業については、建物、機械、輸送等への投資に関して、控除率が現行の8%から10%に引き上げられる。また、請求書の発行や顧客管理、電子商取引、サイバーセキュリティなどに関するデジタル投資に対しては、基礎控除をさらに10%引き上げる。また、新たにテーマ別の控除を設けることとし、①効率的なエネルギーや再生可能エネルギーの利用、②電気貨物自動車などによるゼロ・エミッション輸送、③効率的な水道システムなどのグリーン投資、④エネルギー消費を管理するソフトウェアなどのグリーン・デジタル投資の4分野が対象として設定された。これらについては、個人事業者や中小企業は40%、大企業は30%が控

除できる。研究開発および特許に対する控除は、技術控除と改名される。新たな制度では、環境に配慮した製品開発のための特許・研究開発投資に対する投資について、単発の場合は 13.5%、複数年にわたる場合は 20.5%が控除できる見込み。(2023 年 11 月 14 日)

4 フランダーズ政府、北部からの窒素酸化物排出を規制する法令で合意

フランダーズ政府は、同地域の窒素酸化物 (NOx) を規制する法令で合意した。フランダーズ地方では、集約畜産が広く行われており、糞尿や合成肥料に含まれる窒素が多く使用されている。一方で、窒素過多になると汚染物質として、水に溶けこみ、土壌の肥沃度を低下させるため、欧州委員会から、窒素の使用量を削減するよう勧告を受けていた。1 年程前には工業と畜産業に対する最大排出基準値が設定され、3 年以内に操業を全面停止しなければならないレッドリストに 41 施設が設定されるなどの決定がなされていた。フランダーズ地域は、ベルギーの養豚生産の約 95%を占めており、その内 53.1%が西フランダーズに集中している。さらに、牛の飼育の過半数と、増加傾向にある養鶏場の大半もフランダーズ地域で行われている。(2023 年 11 月 14 日)

5 ベルギー政府、EU への国家エネルギー・気候計画 (NECP) で合意

連邦政府のカタビ環境大臣は、連邦政府および各地域政府は、欧州委員会に提出するために、NECP 草案に合意したと発表した。この結果、すべての政府は、ベルギーの 2030 年までの GHG 排出削減目標 47%に対して責任を負うことになる。今後は、2023~2030 年にかけての削減努力と約 60 億ユーロの予算内容について協力協定交渉が行われる。EU 加盟国は 6 月末までに、EU の 2030 年の GHG 排出削減、再生可能エネルギーおよびエネルギー効率に関する目標に貢献するための方法をまとめ、欧州委員会に提出する必要があったが、ベルギーは未提出だった。(2023 年 11 月 23 日)

6 50 人以上の企業で、12 月からメンタルヘルス担当者の任命を義務化

2023 年 12 月 1 日から、50 人以上の企業で、従業員のメンタルのための担当者を少なくとも社内内で 1 人任命することが義務付けられる。同担当者は、社内事情などに精通した人物であることが望まれ、任命から 2 年の間に関連する研修を受けることが求められる。同政策は、連邦政府の職場環境の改善に関する行動計画の一環。従業員が 20 人未満の企業で産業メンタルカウンセラーを任命する場合は、社外の者でも構わない。従業員は、いじめや同僚との対立、仕事のプレッシャーや不明確な業務内容によるストレス、私生活上の問題等を相談できる。(2023 年 11 月 23 日)

2. ベルギーの経済・産業動向

1 ソルベイ、米国に EV 向けの素材製造工場の新設計画を確認

ソルベイは、米国のジョージア州オーガスタに電気自動車（EV）のバッテリーグレードに使用される熱可塑性フッ素樹脂 PVDF（ポリフッ化ビニリデン）の製造施設を新設する計画を発表した。2030 年までに米国の自動車販売台数の半分以上が EV となると予測される中、PVDF を米国で生産し、急成長する米国内のバッテリー市場のニーズに応える。新設備は、年間 500 万台以上の EV バッテリー向けの材料が供給可能で、バリューチェーン全体で数百人の雇用を創出する。同プロジェクトは、米国エネルギー省から 1 億 7,800 万ドルの助成金を受け、化学品や建設資材などを手がけるメキシコのオルビア（Orbia）と共同で行う。同発表に先がけてソルベイは、オルビアと合併会社を設立することで合意していた。（2023 年 11 月 2 日）

2 フランダース・メイク、コルトレイクに第 3 カ所目の新産業技術センターを開設

フランダース地域の製造業のための戦略的リサーチセンター、フランダース・メイクは、3 カ所目となる製造業向けの技術とイノベーション研究センターをコルトレイクに開所した。同センターの下で、企業は最新の技術や生産方式の試験が可能となり、その試験結果を基に生産環境に最適な投資を決定できる。フランダース・メイクでは、850 人以上の研究者が企業と共同で、年間約 1,200 件の製品や生産に関する革新プロジェクトに取り組んでいる。新しい研究所では、多品種と少量生産に重点を置き、スマートで持続可能な生産への移行に必要な支援を行う。（2023 年 11 月 9 日）

3 送電網の大規模投資のために電気代を値上げへ

国内の高圧配電網を管理するエリアがインフラに大規模な投資を行うことに伴い、今後数年間で電気料金が上昇する。エリアは、連邦エネルギー規制当局（CREG）が適正な投資であると判断した場合、投資費用を送電料金に転嫁することができる。エリアは 2024～2027 年にかけて、高圧送電網に 64 億ユーロを投資するとし、同額は過去 3 年間の総投資額の 4 倍以上となる。今回、料金の 77% の値上げが許可されると、平均的な家庭で月々 2～3 ユーロの電気料金の負担増となる。現在、消費者は送電費用として、電気料金総額の約 3%、年間平均で約 40 ユーロを負担している。（2023 年 11 月 14 日）

4 欧州委、2023 年の GDP 成長率予測を 0.6% に下方修正、ベルギーは 1.4% へ上方修正

欧州委員会は、秋季経済予測で 2023 年の EU とユーロ圏の実質 GDP 成長率をともに 0.6% と予測し、前回の包括的予測である 5 月の春季経済予測から、それぞれ 0.4、0.5 ポイント下方修正した。2024 年の成長率は、EU で 1.3%、ユーロ圏で 1.2% と回復を見込む。ベルギーの 2023 年の GDP 成長率は、インフレ率に応じて賃金を自動的に引き上げる「インデクセーション（物価スライド制）」に支えられた個人消費が経済をけん引するとして 1.4% と予測し、前回から 0.2 ポイント上方修正した。2025 年は 1.5% と見込まれ、欧州平均を上回っている。（2023 年 11 月 15 日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2023 年 11 月 22 日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/9187dba83a674173.html>

5 第3四半期の GDP 成長率は前期比 0.4%、低成長が継続も雇用は拡大

ベルギー国立銀行（NBB）は、2023 年第 3 四半期（7～9 月）の実質 GDP 成長率を前期比 0.4%（季節調整済み）、前年同期比では 1.4%と発表した。第 2 四半期（4～6 月）の前期比 0.3%からはやや上向いたものの、依然として低成長が続いている。2023 年第 3 四半期の GDP 成長率（前期比）を需要項目別にみると、民間最終消費支出は、耐久財の消費に支えられ、前期の 0.2%増からわずかに拡大し 0.3%増となった。一方で、2023 年第 3 四半期の雇用は前期から 1 万 2,700 人増加し、総雇用者数は前期比 0.2%増、前年同期比で 0.7%増だった。（2023 年 11 月 30 日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2023 年 12 月 11 日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/12/500352c7c40acca9.html>

6 世界デジタル競争力ランキング、ベルギー15位へ、日本は32位へ後退

スイスの国際経営開発研究所（IMD）は、7 回目となる世界デジタル競争力ランキング 2023 を発表した。2017 年の調査開始以来、5 回目まで首位を維持していた米国は、前年調査では 2 位となったものの、再び首位に返り咲いた。オランダ、シンガポール、デンマークが続いた。ベルギーは前回から 8 つ順位を伸ばし、15 位となった。日本は前回調査から 3 つ順位を落とし、32 位となった。（2023 年 11 月 30 日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2023 年 12 月 5 日付）

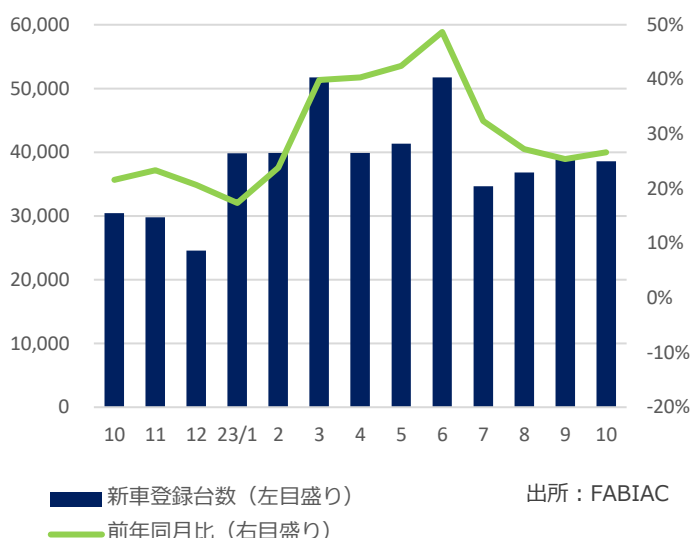
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/12/57c3775c09f83ce1.html>

3. 月例経済指標

10月の新車登録台数 前年同月比 26.6%増

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば 10月の乗用車の新車登録台数は、3万8,560台（前年同月比 26.6%増）となり、2022年8月以降、前年同月比ベースで 15カ月連続の増加となった。メーカー別では、BMW のシェアが 10.58%と最大で、アウディ（9.30%）、フォルクスワーゲン（8.50%）が続いた。（2023年11月6日）

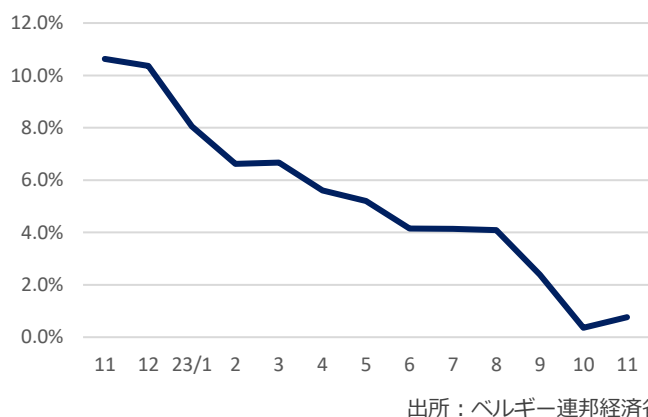
新車登録台数の推移



11月のインフレ率 前年同月比 0.76%上昇

連邦経済省の発表によると、11月の消費者物価指数は前年同月比で 0.76%上昇し、7カ月ぶりに前月から上昇した。飲料（アルコール含む）、天然ガス、海外旅行、国内旅行、野菜、電力、果物が押し上げ要因となった。他方、車両用燃料、ホテル宿泊代、車の購入、暖房用燃料、酪農製品が押し下げ要因となった。（2023年11月29日）

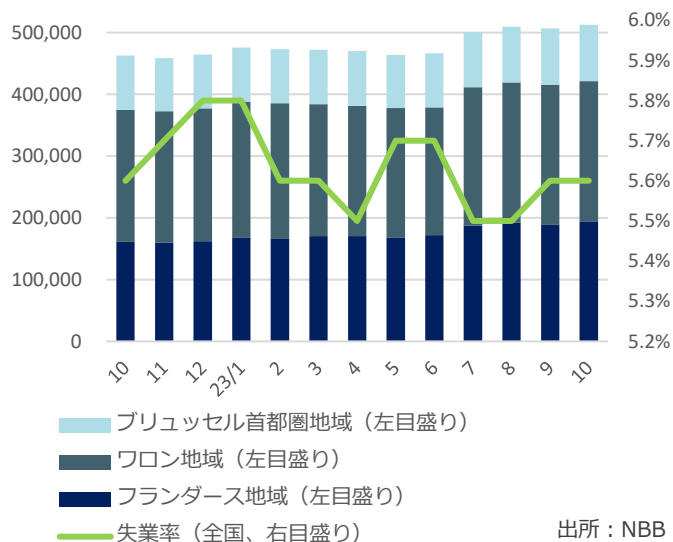
消費者物価上昇率（前年同月比）



10月の失業率 5.6%、前年同月比横ばい

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の10月の失業率（季節調整値）は 5.6%（前年同期比横ばい）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の10月の失業率は、前年同期比（以下同じ）3.6ポイント増で 15.1%、フランダース地域は、0.9ポイント増で 6.6%となった。ワロン地域は、0.8ポイント増の 14.0%だった。地域別の失業者数では、フランダース地域が 19万4,342人、ワロン地域が 22万7,116人、ブリュッセル首都圏地域が 9万1,293人だった。（2023年11月7、14日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

4. EU の動向 | JETRO ビジネス短信より

- (1) 欧州環境庁、GHG 排出 55%削減へ運輸と農業部門の早急な取り組み求める (2023 年 11 月 1 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/76c0c5ca2a9450c4>
- (2) 欧州委、CBAM 移行期間の報告書登録簿のマニュアルを公表 (2023 年 11 月 1 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/21bdf1dc37c39549>
- (3) EU の 2023 年上半期の家庭用電力・ガス価格、高値更新も安定の兆し (2023 年 11 月 7 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6fa9ebeb334ebf468>
- (4) EU、経済的威圧への対抗措置の反威圧手段規則を正式採択、12 月に施行予定 (2023 年 11 月 8 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/7a9e06e6c1c91726>
- (5) 欧州委、ウクライナとの正式な EU 加盟交渉の開始を勧告 (2023 年 11 月 10 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6d554cbd573e1cb4>
- (6) EU の 2022 年の自動車輸入、EV の割合が 42%に拡大 (2023 年 11 月 13 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/a2c81b8977040528.html>
- (7) EU、共通規格でのデジタル ID 発行で最終政治合意、採択後 30 カ月以内に発行開始 (2023 年 11 月 13 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/1afc35ec2c43a264.html>
- (8) 欧州委、貨物輸送のグリーン化を補完する複合輸送指令の改正案提案 (2023 年 11 月 14 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/c68a31ff2b2e667d>
- (9) ロシア産鋼材使用の鉄鋼製品に対する EU の輸入制限に問い合わせ相次ぐ (2023 年 11 月 14 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/a806ae37db56f209>
- (10) EU、2021 年もプラスチック袋の消費削減、ベルギーの消費が最少 (2023 年 11 月 17 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/78c9a7e380376516>
- (11) 欧州産業連盟、秋季経済見通し発表、企業の景況感の大幅悪化などを危惧 (2023 年 11 月 17 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/b5da7791b46f21c4>
- (12) EU、重要原材料法案で政治合意、中国依存軽減を狙う (2023 年 11 月 17 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/08d025683aa6c90d>
- (13) EU、2022 年のグリーンエネルギー関連製品輸入額、前年比 2 倍以上 (2023 年 11 月 20 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/7df7db7f55b92a93>

(14) EU、廃棄物輸送規則改正案で政治合意、OECD 非加盟国へのプラスチック廃棄物輸出を禁止
(2023 年 11 月 21 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/37380d4d6c3de6f5>

(15) 欧州委、EU の雇用主と域外求職者のマッチング・プラットフォーム設置を提案
(2023 年 11 月 21 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2ce3b2d3ff44739c>

(16) EU、エネルギー部門のメタン排出削減規則案で政治合意、化石燃料輸入時に排出制限も
(2023 年 11 月 21 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/9eae34c91627d6a9>

(17) 欧州委、2023 年の GDP 成長率予測を 0.6%に下方修正、地政学リスクの高まりも
(2023 年 11 月 22 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/9187dba83a674173>

(18) 欧州議会、ネットゼロ産業法案の立場を採択、公共調達から中国の実質的な排除を求める
(2023 年 11 月 24 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/f2b2c984b5c92736>

(19) EU、域内公的サービスのデジタル化の相互運用性を強化する法案で政治合意
(2023 年 11 月 24 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/18c5af6b26570a72>

(20) 欧州産業連盟、欧州委の域外人材受け入れ促進の方針歓迎、背景に深刻な人手不足
(2023 年 11 月 24 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/ce132544c682e36c>

(21) 欧州委、グリーン水素生産に補助金提供する欧州水素銀行の第 1 回競争入札の募集開始
(2023 年 11 月 27 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/e09ed900a32c4c5f>

(22) EU、2022 年のレアアースなどの重要原材料輸入、中国に大幅依存 (2023 年 11 月 28 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/a9df0857ad107c40>

(23) 欧州委、洋上インフラや水素関連を支援事業「共通利益プロジェクト」に指定
(2023 年 11 月 30 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/13eeaa4465271f91>

(24) 世界の政治・経済日程 (2023 年 12 月～2024 年 2 月) (欧州) (2023 年 11 月 30 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/4dbd170ba8700b62.html>

5. お知らせ

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

調査レポートのご案内

- 「ジェットロ世界貿易投資報告 2023 年版」より
[「EU の貿易と投資」](#)
[「ベルギーの貿易と投資」](#)
- 地域・分析レポート「[欧米主導の新たな枠組み形成](#)」（2023 年 11 月）
- 地域・分析レポート「[中国製 EV との戦い方模索する EU](#)」（2023 年 12 月）
 - 中国 EV・車載電池企業の欧州、ASEAN、中南米でのビジネス展開に関する特集を合わせご参照ください。
[「中国 EV・車載電池企業の海外戦略」](#)（2023 年 12 月）
- 地域・分析レポート「EU 乗用車販売減に底打ち感、EV が好調」（2023 年 9 月）
 - ・第 1 回：「[市場と規制の動きを概観](#)」
 - ・第 2 回：「[EV 普及支援に本腰](#)」
 - ドイツ、フランスなど欧州各国を含む世界の自動車市場動向については、以下をご参照ください。
調査レポート「[主要国の自動車生産・販売動向](#)」（2023 年 11 月）
- 調査レポート「[2023 年度 海外進出日系企業実態調査（全世界編）](#)」（2023 年 11 月）

★次のページにもお知らせがあります。

ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。

ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルティングサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

 **サービス詳細・お申込み**

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

mailto:お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)